

事業実施報告書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

I 概況

平成21年度は、協会が創立されて50年となる記念すべき年を迎え、永年会員表彰を始めとした記念式典を多彩に執り行った。

一方で、前年から引き続く世界経済の混乱の影響下にあり、さらに、5月には新型インフルエンザの発生により、観光を始めとした兵庫県の経済は深刻な打撃を受けた年でもあった。また、小売業界では、売上げ不振の続く百貨店では再編や閉鎖が取りざたされ、全国のスーパー売上げは13年連続減となる等消費者の節約志向が一層顕著となっている。

しかし、経済対策の効果により、年度後半に至って、「依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが見られる」との経済情勢報告があり、世界的には、2010年度に向け好調に回復中との見通しが示された。

このような状況の中にあって、当協会の主要事業である「ひょうごふるさと館」の販売実績は209,520千円と3年連続して2億円を上回ったものの、新型インフルエンザの影響もあり、前年度比では98.8%と7年振りの減少を余儀なくされた。しかし、各種イベント事業への「移動ふるさと館」による積極的な出展、館内イベント開催の充実等攻めの販売戦略を展開し、減少を最小限に留めることができた。

さらに、物産展としては、50周年を記念した姫路市・山陽百貨店での開催を始めとして、デパート、スーパー等で12事業を展開し、新規の事業として、経済対策の一環であるエコポイント交換事業にも参加し、県産品を販売、PRに努めた。

II 会員の異動状況

平成21年度は、入会依頼等会員の確保に努めた結果、次のとおり17人の新規入会を見た。(1名は賛助会員から一般会員への移行)

種別	前年度末会員数	年間異動状況		年度末会員数
		入会	退会	
一般会員	274人	17人	10人	281人
特別会員	58人	0人	0人	58人
賛助会員	2人	0人	1人	1人
合計	334人	17人	11人	340人

Ⅲ 事業別実施概要

1 物産展開催概要

県内外に県内物産品の紹介及び宣伝を行うとともに、これを販売するため次のとおり物産展開催及び出展を行った。

物産展開催実績

開催地	会場	会期	出展業種等	備考
名古屋市	松阪屋本店	H21.6.10～15	食品・工芸品 5社	四国・瀬戸内の物産と観光展
姫路市	山陽百貨店	H21.6.24～29	食品・工芸品 22社	ふるさとひょうごの物産と観光展
加古川市	ヤマトヤシキ百貨店	H21.9.12～13	食品・工芸品 33社	兵庫県の物産展
伊丹市	ジャスコ伊丹店	H210.16～18	食品 8社	うまい兵庫！ 兵庫県フェア
三田市	フローラ88	H210.31～11.1	食品 4社	フローラ88 「秋の味覚祭」
宮崎市	宮崎県庁前広場	H21.11.19～20	食品・工芸品 5社	ひょうごの物産と 観光展
豊田市	トヨタ生協 メグリア	H22.3.17～23	食品 2社	四国瀬戸内観光と 物産展
淡路市	淡路夢舞台	H22.3.20～31 (H22.5.30まで)	食品・工芸品 12社	ひょうごの物産展
合計	8催事・8会場	延べ40日	91社	—

2 県内物産の常設展示及び販売施設の管理運営

兵庫県内各地の特産品、村おこし産品等を収集、展示、販売し、広く県内特産品等の認識を高め、県下特産品業界の振興と都市と農村の交流推進に努めた。

(1) ひょうごふるさと館

- ・設置場所 神戸市中央区御幸通8-1-26ケイエスビル（そごう神戸店新館）5階
- ・面積 181.5㎡
- ・出展会員数 200社（対前年度 7社減）
- ・出展商品数 1,420品目（対前年度 22点減）
- ・経緯
 - 昭和51年 5月 「兵庫の特産品展示室」開設
 - 平成3年 7月 「ひょうごふるさと館」に改称
 - 平成7年 3月 阪神・淡路大震災被害補修工事
 - 平成14年 3月 2階から5階へ移転
 - 平成17年 3月 陳列棚等改修実施
 - 平成18年 2月 酒類販売免許取得

① 平成21年度販売概況

平成21年度の販売実績は、前年度比98.8%と減少となった。しかし、長引く景気の低迷、インフルエンザ禍の影響や菓子博等の大型イベントへの出展のない中であって、会員、出展者による日常的な魅力ある商品づくり、移動ふるさと館の積極的出展や館内イベントの充実、職員一丸となった販売努力により大いに健闘した内容と考える。

事業別には移動ふるさと館が前年度比29.5%で767万円の減となったが、館内イベントでは前年度比120%、753万円の増を見た。

また、販売品種別では、食料品が前年度比91.4%、1,385万円の減となったが、民工芸品は128.7%、397万円の増となった。

このように、事業種別や販売品種別毎に補完仕合ながら、販売実績を確保してきたもので、協会の収支に直接関わる手数料収入ベースでは、前年度比100.7%と増収となった。

ひょうごふるさと館展示販売の実績

区 分	平成20年度		平成21年度		対前年度比
	販売総数	一日平均	販売総数	一日平均	
販売額(円)	212,007,313	584,042	209,520,518	577,191	98.8%
販売点数(点)	382,538	1,054	374,663	1,032	98.0%
購入者数(人)	129,530	357	129,113	356	99.7%
販売日数(日)	363	—	363	—	—

② 移動ふるさと館事業

兵庫県及び関係団体が開催する県内外のイベント会場において、県内特産品の展示即売コーナーを開設する移動ふるさと館事業を実施した。

移動ふるさと館事業実施事業内容

会 期	事 業 名	会 場	販売額
H21.4.3~12	あいたい兵庫デスティネーションキャンペーン	J R 京都駅	1,053千円
H21.4.30~5.10	09食の博覧会・大阪	インテックス大阪	38千円
H21.5.9~10	新開地音楽祭	湊川公園	210千円
H21.7.31~8.2	地域の魅力セレクション2009	東京国際フォーラム	155千円
H21.8.7~8	全国高等学校野球大会関連	ホテルオークラ神戸	130千円
H21.9.19~20	人権啓発フェスティバル	ハートフルフェスタ2009ぎふ 味と土産の広場(岐阜市)	118千円

H21.10.11	御堂筋k a p p o	御堂筋（大阪市）	70千円
H21.10.16～18	うまい兵庫！兵庫県フェア	ジャスコ伊丹店	581千円
H21.11.2	東京兵庫県人会	帝国ホテル(東京都)	250千円
H21.11.12	お国自慢の全国郷土展	皇居外苑(東京都)	174千円
H21.11.14～15	産業企画展	神戸国際展示場	219千円
H21.11.19～20	ひょうごの物産と観光展	宮崎県庁前並木道	259千円
H21.12.17	ひょうごふるさと市	兵庫県庁中庭	456千円
計	延べ41日 13会場		3,713千円

※販売額はふるさと館販売額を含む

(2) 本庁舎物産展示コーナー

本庁舎物産展示コーナーにおいて、伝統工芸品、グッドデザイン認定商品やひょうごの銘菓など、ふるさと自慢の産品を展示するとともに、あいたい兵庫デスティネーションキャンペーン情報を提供した。

設置場所 神戸市中央区下山手通5-10-1
兵庫県庁2号館1階と3号館の渡り廊下及び1号館ロビー
(県政・県議会PRゾーン等)

展示品目 約73点(4ケース)

(3) 関西国際空港兵庫物産店

設置場所 大阪府泉佐野市泉州空港北1番地
関西国際空港 旅客ターミナル3階「三彩」

面積 35.37㎡

販売委託先 株式会社空港専門大店

販売概況 販売額は前年度比85.1%と年々低下傾向にある。この要因としては、JAL経営破たん、インフルエンザ禍等による減便、搭乗手続きの簡便化による立ち寄り客の減、ゲート内ショップの開設、昨年に引き続き機内持ち込み品の制限による買い控えなどが影響していると考えられる。

なお、上位売上げは、洋菓子53.4%、食品一般14.2%、和菓子6.8%、となっている。

兵庫物産店「三彩」の実績

区分	平成20年度	平成21年度	対前年度比
販売額	28,995千円	24,681千円	85.1%

3 各種催物の参加事業

県内外で開催されたイベントに参加出展し、県物産の紹介販売を行った。

(1) 各種催物参加状況

会 期	事 業 名	会 場	出展社	販売額
H21.4.30～5.10	09食博覧会・大阪	インテックス大阪	2社	1,605千円
H21.7.18～20	兵庫県物産コーナー	神戸しあわせの村	2社	359千円
H21.8.29	サンビオラ夏祭り	宝塚サンビオラ	2社	83千円
H2111.14～15	ふれあいの祭典 2009	但馬ドーム(豊岡市)	14社	1,559千円
計	延べ17日、4会場		20社	3,606千円

(2) カタログ販売事業等

農業団体における関係者へのプレゼント事業に地域特産品の提供を受託し、地域別の特産品カタログを作成のうえ、関係者に配布し希望商品を届ける一種のカタログ販売事業を新たに展開した。

取扱点数：4, 126点

(3) エコポイント交換事業

国が実施する、エコポイント活用によるグリーン家電普及促進事業に参加し、兵庫の特産品を全国にPRするとともに、注文に応じ商品を全国に発送した。また、同様の住宅版エコポイント事業にも県特産品29点を登録した。

取扱点数：1, 006点

(4) 県各部局等が実施する事業での賞品、贈答品に県特産品を提案し採用されるなど、販路の拡大に努めた。

4 都市と農山漁村との交流事業

(1) ひょうごふるさと館におけるイベントの実施

館内のイベントコーナーにおいて、地域の商工観光団体及び商工業者等が特産品のPR及び販売と観光情報等を来館者に提供する事業を実施し、都市と農山漁村との交流を促進した。

区 分	平成20年度	平成21年度	前年度比
実施回数	241回	222回	92.1%

延べ日数	859日	1,080日	125.9%
販売額	34,597千円	45,024千円	130.1%

※販売額はふるさと館販売額を含む

(2) ふるさと発見バスツアーの実施

ひょうごふるさと館友の会会員等を対象に、県内の村おこし産品等を展示販売している施設(特産館、道の駅等)及び観光施設等を見学する「ふるさと発見バスツアー」を実施し、都市と農山漁村との交流を図った。

実施回数 2回 参加者77人

実施年月日	参加人員	目的地	訪問先等
H21.7.8	38人	淡路地域	トマトケチャップ工場とトマト畑見学、 オレンジ狩りとたまねぎ畑見学、 都美人酒造の酒蔵見学、 タモギ茸の見学説明 ほか
H21.10.13	39人	丹波地域	黒豆狩り、栗拾い体験 ひかみ四季館訪問 菜園倶楽部「at篠山」見学 丹波焼工房見学 ほか

(3) ひょうごふるさと館友の会の運営

友の会会員を対象として、ふるさと館事業の案内、各地域の特産品やツーリズム情報を提供し、都市と農山漁村との交流を促進した。

また、友の会会員に対し、特別割引販売を実施しリピーターの増に努めた。

5 インターネットショッピングサイトの運営

事業開始から3年間を経過し、初めて販売額等が減少した。これは、主力商品の販売離脱によることが大きな要因である。このため、ネット来場者への購買意欲を高めるため、商品を紹介する広告掲載に努めたほか、中元、歳暮等シーズン毎のイベントの開催、新商品の登録等によりリピーター客の確保にも努めた。

また、ネット商品を核としたカタログ販売、エコポイント交換等総合的な運営により、手数料収入の確保に努めてきた。

今後は、ふるさと館のホームページの改訂等により、ショッピングサイトと連携した販売網を充実していく。

区分	平成20年度	平成21年度	前年度比
出店会員数	59社	67社	113.5%

出 店 品 目	342点	312点	91.2%
販 売 額	8,902千円	4,939千円	55.4%
登 録 手 数 料	339千円	306千円	90.2%
広 告 掲 載 料	1,215千円	975千円	80.2%
販 売 点 数	2,564点	2,295点	89.5%
ネ ッ ト 来 場 者 数	228,356件	200,050件	87.6%

購入者地域	全都道府県
イベントの実施	中元及び歳暮セール、くぎ煮及び栗・枝豆フェア
特集サイト開催	匠の技、旬の食材等をトップページにて紹介
広告サイトの運営	トップページに広告枠を設置し活用
広報・広告の実施	アフィリエイトの活用 機関紙等への広告掲載 集客イベント等でのチラシによる広報等

6 物産に関する情報の収集及び発信事業

(1) ツーリズム情報コーナーの設置

ひょうごふるさと館に設置している「ツーリズム情報コーナー」において、県内の特産品や観光、イベント等に関するパンフレット等の配布により、来館者に情報を提供した。

(2) テレビ等によるPR

兵庫県のテレビ等の広報番組を活用し、地域の特産品や村おこし産品をPRした。

(3) ホームページによる情報提供

ホームページの活用により、県内物産品の情報を全国に広く発信した。

7 出展助成事業及び事業後援

協会会員及び商工団体等が開催又は出展する展示会、見本市等の事業に対し協賛事業として助成を行った。

また、会員等が実施する物産振興等に寄与する事業に対し、後援を行った。

① 出展助成事業

助成団体数 4団体

助成金額 186千円

団 体 名	事 業 名	開催時期
西宮酒ぐらルネッサンスと食フェア実行委員会	第13回西宮酒ぐらルネッサンスと食フェア	H21.10.3~4

財団法人北播磨地場産業開発機構	デザイナージョイントコレクション	H21.11.01
三木金物商工協同組合連合会	第53回三木金物展示・直売会	H21.11.7～8
丹波焼陶器まつり実行委員会	第32回丹波焼陶器まつり	H21.11.17～18

② 後援事業

後援件数 8件

- ・日本ケミカルシューズ工業組合 「くつつ子まつり」
- ・大国寺と丹波茶まつり実行委員会 「第29回大国寺と丹波茶まつり」
- ・丹波焼陶器まつり実行委員会 「第32回丹波焼陶器まつり」 ほか

8 県下特産館等との連携強化

当協会が開催する物産展示事業及びひょうごふるさと館の運営管理、村おこし産品並びに特産品振興事業を効果的に推進するため、随時、県下特産館等と情報交換を行った。

9 50周年記念事業の実施

平成21年5月29日に会員、来賓約150名の出席を得て、創立50周年記念式典等を実施した。

(1) 記念式典

永年会員表彰等 100人
永年役員表彰 4人
永年勤続職員表彰 2人

(2) 記念講演会 講演テーマ「新しいマーケティング発想」 講師 流通科学大学 学長 石井 淳蔵氏

(3) 会員による特産品の特別展示会 93社 168品目